

～新型コロナウイルス感染症による健康二次被害の予防に向けて～

人間科学部 高井逸史教授が、

緊急事態宣言後のデイサービス利用者の健康調査結果およびアドバイスを発表

～コロナ自粛生活における身体機能・認知機能に及ぼす影響について570人にアンケート～

大阪経済大学（学長：山本俊一郎／所在：大阪市東淀川区）は、人間科学部・高井逸史教授（リハビリテーション科学）がデイサービスなどの通所介護サービスを利用する高齢者570人を対象に、2020年5月10日～31日（日）にかけて実施した「緊急事態宣言後におけるデイサービス利用者の健康に関する調査」の結果がまとまりましたので、お知らせします。

本年4月7日、コロナウイルス感染症拡大防止のため大阪府で「緊急事態宣言」が発令、4月16日には全国に拡大、5月25日に解除されました。厚生労働省の調査によると、高齢者のデイサービスを行う介護事業所では、全国858事業所の休業が報告されました。（2020年4月20日報告分）

地域包括ケアやフレイル予防の研究を行う高井逸史教授は、大阪府介護支援専門協議会堺ブロックの協力を得て電話アンケートを行い、通所サービスを継続した利用者「通う群」と、休業等により通所サービスを控えている「控える群」に分け、通所サービスを受けない場合の身体及び認知機能に及ぼす影響を分析しました。

【主な調査結果】

- 1) 介護度の低い「要支援」では「通う群」(24.5%)に対し「控える群」(32.8%)が多くなった。一方で「通う群」は要介護度が高い「介護2」以上の割合が「控える群」より多く見られた。
- 2) 家族背景が独居の割合、「通う群」(39.0%)が「控える群」(25.0%)より高い。
- 3) 家族の協力体制では「期待できる」と答えた割合は「控える群」(28.7%)が「通う群」(17.2%)より多かった。
- 4) 通所サービスを控えた平均日数は38.5日。控えた人のうち「すべて控えた」(84.4%)「部分的に控えた」(14.8%)
- 5) 緊急事態宣言前と「生活の充実感」を比べると、「控える群」では「減った」(16.4%)「少し減った」(21.7%)が、「通う群」の「減った」(1.8%)「少し減った」(9.2%)を大きく上回る結果となった。
- 6) 緊急事態宣言前と「転倒に対する不安」を比べたとき、「控える群」は「増えた」(13.9%)「少し増えた」(21.7%)となり、「通う群」の「増えた」(0.3%)「少し増えた」(5.5%)を大きく上回った。
- 7) 緊急事態宣言前と「物忘れ」を比べたとき、「控える群」では「増えた」(4.1%)「少し増えた」(15.2%)、「通う群」では、「増えた」(0%)「少し増えた」(1.8%)を大きく上回った。
- 8) 「家族の介護負担」は、緊急事態宣言前と比べると「控えた群」では「増えた」(16.0%)「少し増えた」(20.5%)、「通う群」では「増えた」(0%)「少し増えた」(4.0%)を大きく上回った。

【要介護者の家族の声】「感染リスクを考えてデイサービスの利用を控えたが、ここまで認知症の進行などフレイルが悪化すると思わなかった」「今回は介護できたものの第2波が到来した際は仕事を辞めない介護できない」

【施設担当者の声】「通所サービスを継続して利用している人はコロナの影響をあまり受けていないことに驚いた」「認知症の悪化や家族の介護負担の増加は想定内だったが、転倒に対する不安や生活の充実感がここまで悪化すると思わなかった」

緊急事態宣言解除後、介護度の悪化により区分申請が増加する中、事業所だけでは重度化予防に限界があり、行政や自治体などとの連携が必要です。

高井教授は、第2波を想定した今後の対策として生活リズムを整え、自宅で身体を動かす習慣を身につけることが重要と提言します。通所サービスを利用していた曜日・時間帯に介護スタッフや家族が自宅に訪問して直接ご本人と会話するなど生活リズムを整えること、自宅で簡単にできる体操のリーフレットを配布し、訪問の際に実施できているか確認する等の対策を提案しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

大阪経済大学 経営企画部広報課 高濱・白神 Tel : 06 - 6328 - 2431 Mail : kouhou@osaka-ue.ac.jp

<https://www.osaka-ue.ac.jp>

大阪経済大学 広報デスク (プランニング・ホール内) 福嶋、山村、井上 Tel : 06 - 4391 - 7156

「緊急事態宣言後による通所サービス利用者の健康に関する調査」概要

- 実施期間 2020年5月10日（日）～ 31日（日）
- 調査目的 休業等により通所サービスが利用できない利用者様、または通所サービスを控えている利用者様を対象に、通所サービスを受けないことによる身体機能や認知機能に及ぼす影響を客観的に明らかにすること
- 協力 大阪府介護支援専門員協会堺ブロック長 大谷信哉 ベルタウン介護相談センター管理者
- 方法 堺市の介護支援専門員が通所サービス利用者にて電話等で健康に関するアンケートを実施
- 調査対象 570人（男性207人、女性358人、不明5人、平均年齢81.8歳）

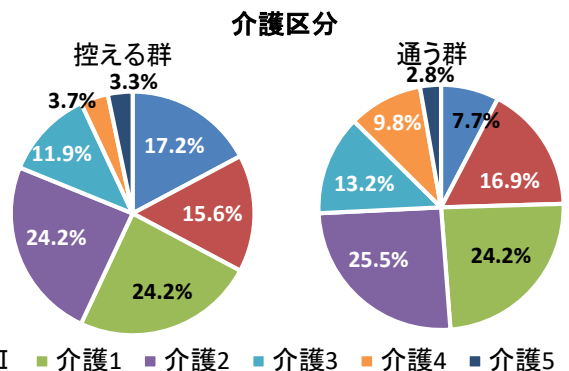
問1) 基本情報

1) 年齢・性別

	計	男性	女性	不明	年齢
控え群	244人	90人	150人	4人	80.9歳
通う群	326人	117人	208人	1人	82.4歳

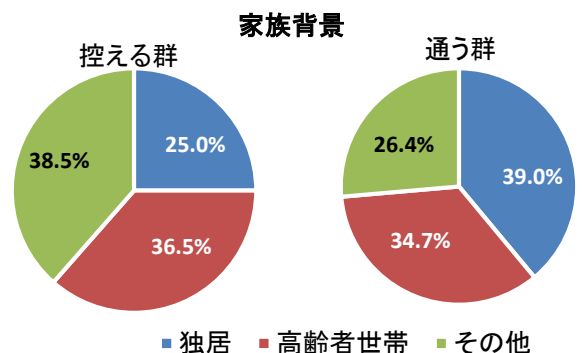
2) 介護区分

	計	要支援		要介護				
		支援 I	支援 II	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5
控え群	244人	17.2% 42人	15.6% 38人	24.2% 59人	24.2% 59人	11.9% 29人	3.7% 9人	3.3% 8人
通う群	326人	7.7% 25人	16.9% 55人	24.2% 79人	25.5% 83人	13.2% 43人	9.8% 32人	2.8% 9人



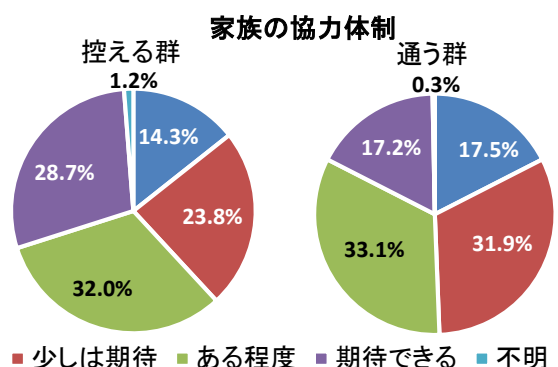
3) 家族背景

	計	独居世帯	高齢者のみ世帯	その他世帯
控え群	244人	25.0% 61人	36.5% 89人	38.5% 94人
通う群	326人	39.0% 127人	34.7% 113人	26.4% 86人



4) 家族の協力体制

	計	むずかしい	少しは期待	ある程度	期待できる	不明
控え群	244人	14.3% 35人	23.8% 58人	32.0% 78人	28.7% 70人	1.2% 3人
通う群	326人	17.5% 57人	31.9% 104人	33.1% 108人	17.2% 56人	0.3% 1人



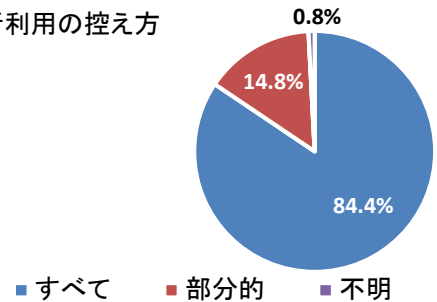
調査結果

問2～問6) 通所サービスを控えた結果

問2-2) 通所利用の控え方について

	計	全ての通所利用を控えている	部分的に通所利用を控えている	不明
控え群	244人	84.4% 206人	14.8% 36人	0.8% 2人

通所利用の控え方



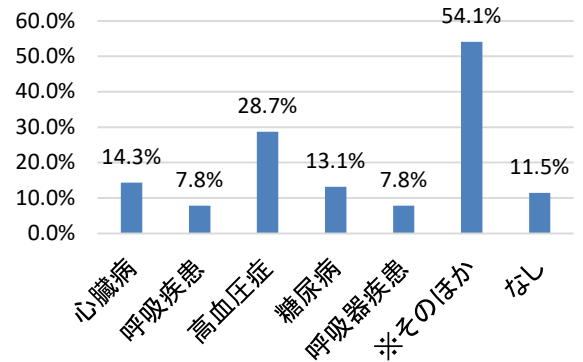
問3) 通所サービスを控えた日数は 平均38.5日

問4) 持病がある

※控え群 (244人) に質問 (複数回答可)

心臓病	呼吸疾患	高血圧症	糖尿病	呼吸器疾患	その他	なし
14.3%	7.8%	28.7%	13.1%	7.8%	54.1%	11.5%
35人	19人	70人	32人	19人	132人	28人

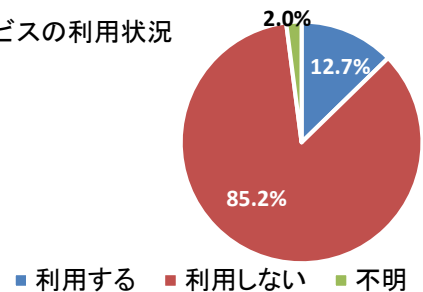
持病 (複数回答可)



問5) 代替サービスの利用状況

	計	利用する	利用しない	不明
控え群	244人	12.7% 31人	85.2% 208人	2.0% 5人

代替サービスの利用状況

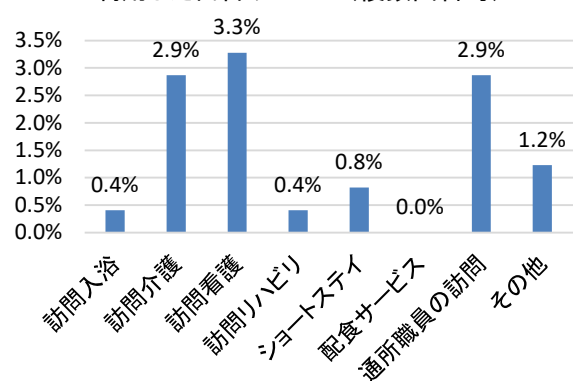


問6) 通所利用を控えていたうち、
利用している代替サービス

※控え群 (244人) に質問 (複数回答可)

訪問入浴	訪問介護	訪問看護	訪問リハビリ	ショートステイ	配食サービス	通所職員の訪問	その他
0.4%	2.9%	3.3%	0.4%	0.8%	0.0%	2.9%	1.2%
1人	7人	8人	1人	2人	0人	7人	5人

利用した代替サービス (複数回答可)



その他のうち2人は休業により他の通所サービスを利用

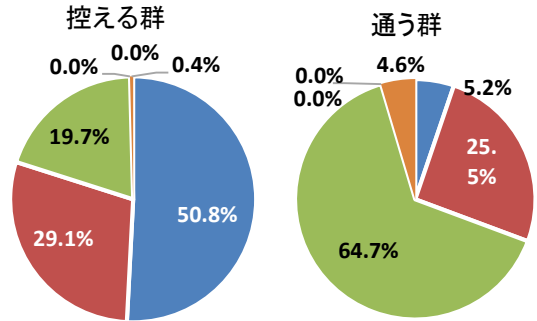
調査結果

問7) 緊急事態宣言前と比べると現在は

1) 1週間の外出頻度は

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	50.8% 124人	29.1% 71人	19.7% 48人	0.0% 0人	0.0% 0人	0.4% 1人
通う群	326人	5.2% 17人	25.5% 83人	64.7% 211人	0.0% 0人	0.0% 0人	4.6% 15人

1週間の外出頻度

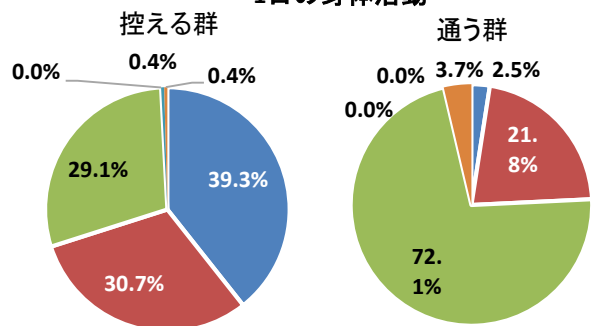


■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

2) 1日の身体活動は

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	39.3% 96人	30.7% 75人	29.1% 71人	0.0% 0人	0.4% 1人	0.4% 1人
通う群	326人	2.5% 8人	21.8% 71人	72.1% 235人	0.0% 0人	0.0% 0人	3.7% 12人

1日の身体活動

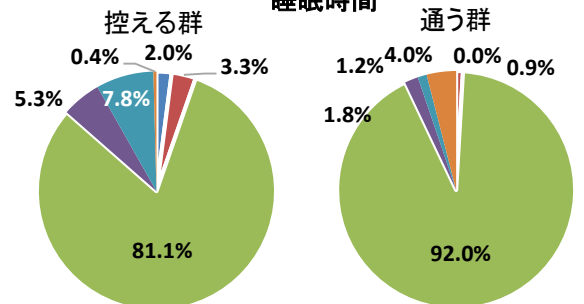


■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

3) 睡眠時間は

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	2.0% 5人	3.3% 8人	81.1% 198人	5.3% 13人	7.8% 19人	0.4% 1人
通う群	326人	0.0% 0人	0.9% 3人	92.0% 300人	1.8% 6人	1.2% 4人	4.0% 13人

睡眠時間

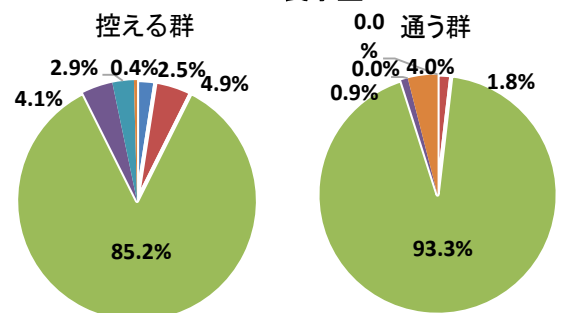


■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

4) 1日の食事は

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	2.5% 6人	4.9% 12人	85.2% 208人	4.1% 10人	2.9% 7人	0.4% 1人
通う群	326人	0.0% 0人	1.8% 6人	93.3% 304人	0.9% 3人	0.0% 0人	4.0% 13人

1日の食事量



■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

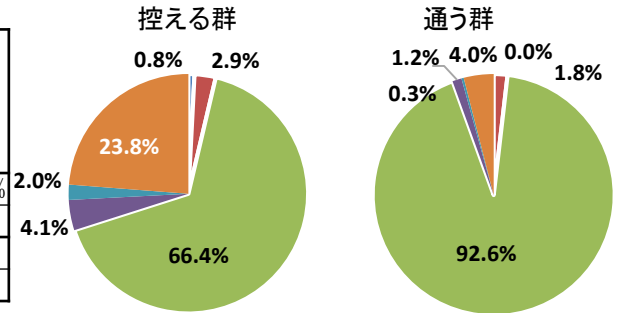
調査結果

問7) 緊急事態宣言前と比べると現在は

5) 体重は

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	0.8% 2人	2.9% 7人	66.4% 162人	4.1% 10人	2.0% 5人	23.8% 58人
通う群	326人	0.0% 0人	1.8% 6人	92.6% 302人	1.2% 4人	0.3% 1人	4.0% 13人

体重

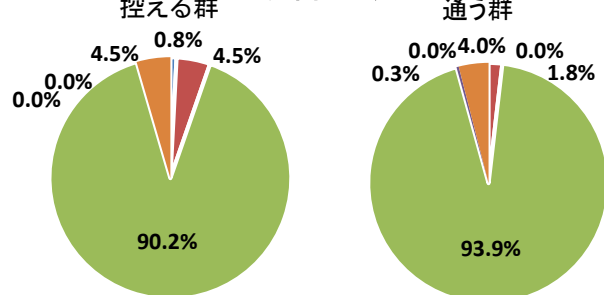


■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

6) 1週間のお通じは

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	0.8% 2人	4.5% 11人	90.2% 220人	0.0% 0人	0.0% 0人	4.5% 11人
通う群	326人	0.0% 0人	1.8% 6人	93.9% 306人	0.3% 1人	0.0% 0人	4.0% 13人

1週間のお通じ

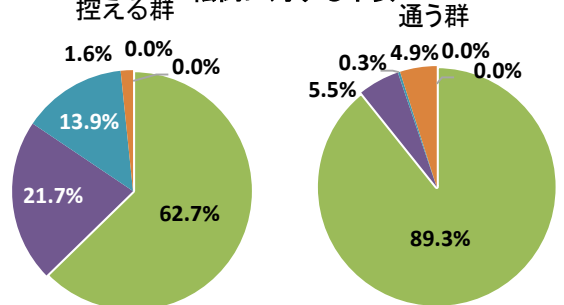


■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

7) 転倒に対する不安は

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	0.0% 0人	0.0% 0人	62.7% 153人	21.7% 53人	13.9% 34人	1.6% 4人
通う群	326人	0.0% 0人	0.0% 0人	89.3% 291人	5.5% 18人	0.3% 1人	4.9% 16人

転倒に対する不安

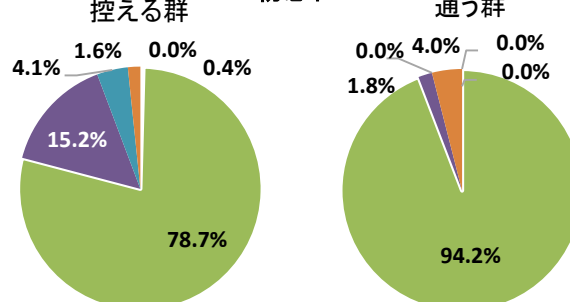


■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

8) 物忘れは

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	0.0% 0人	0.4% 1人	78.7% 192人	15.2% 37人	4.1% 10人	1.6% 4人
通う群	326人	0.0% 0人	0.0% 0人	94.2% 307人	1.8% 6人	0.0% 0人	4.0% 13人

物忘れ



■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

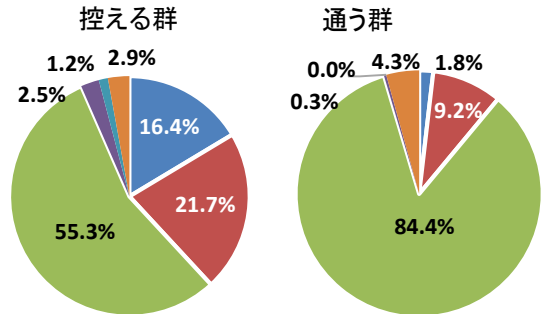
調査結果

問7) 緊急事態宣言前と比べると現在は

9) 毎日の生活の充実感

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	16.4% 40人	21.7% 53人	55.3% 135人	2.5% 6人	1.2% 3人	2.9% 7人
通う群	326人	1.8% 6人	9.2% 30人	84.4% 275人	0.3% 1人	0.0% 0人	4.3% 14人

生活の充実感

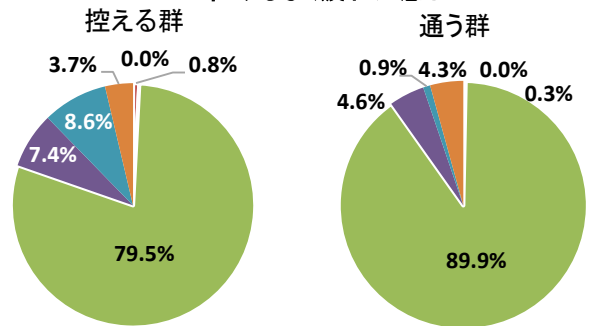


■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

10) わけもなく疲れたような感じは

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	0.0% 0人	0.8% 2人	79.5% 194人	7.4% 18人	8.6% 21人	3.7% 9人
通う群	326人	0.0% 0人	0.3% 1人	89.9% 293人	4.6% 15人	0.9% 3人	4.3% 14人

わけもなく疲れた感じ

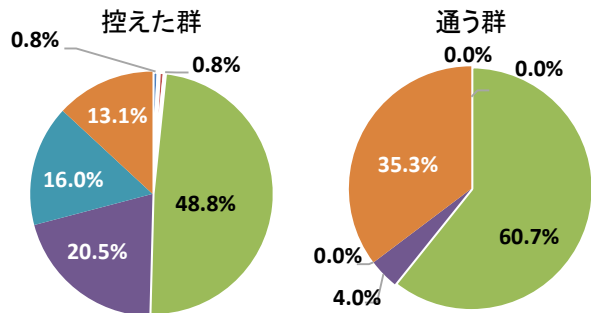


■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

11) 家族の介護負担は

	計	減った	少し減った	変わらない	少し増えた	増えた	不明
控え群	244人	0.8% 2人	0.8% 2人	48.8% 119人	20.5% 50人	16.0% 39人	13.1% 32人
通う群	326人	0.0% 0人	0.0% 0人	60.7% 198人	4.0% 13人	0.0% 0人	35.3% 115人

家族の介護負担



■ 減った ■ 少し減った ■ 変わらない ■ 少し増えた ■ 増えた ■ 不明

現場の声と専門家アドバイス

要介護者の家族や通所サービス施設の担当者の現場の声

●要介護者の家族の声

家族は、通所サービスを利用すると感染リスクが高くなるため利用を控えたが、ここまで認知症の進行など、フレイルが悪化するとは思わなかった。今回はパートの仕事がなかったのが、介護することができたが、第2波が到来した際、仕事を辞めないと介護ができない。第2波に備え代替サービスを有効に活用できるよう、介護支援専門員と相談する。

●通所サービス施設担当者の声

現場サイドの第一声は、「継続して利用している人は、コロナの影響をあまり受けていないことに驚いた」。認知症の悪化や家族による介護負担の増加は想定内だったが、問7の7)転倒に対する不安、9)生活の充実感がここまで悪化するとは思っていなかった様子。

休業要請や緊急事態宣言が解除され、介護度が悪化し介護度の区分申請が増加した。介護度の重度化予防を講じるには、事業所だけでは限界がある。行政をはじめ、自治会、民生委員など地域の協力も必要。

第2波、第3波を想定した今後の対策について、要介護者の家族や通所サービス施設向けのアドバイス



人間科学部
高井逸史教授

●生活リズムを整え、自宅で身体を動かす習慣を身につける。

通所サービスを利用していた曜日、送迎に行く同じ時間帯に自宅に訪問し、介護スタッフが直接ご本人と会話する、または家族が訪問する。不規則な時間より、決まった曜日・時間に会うことで、生活リズムを整える。

また、体を動かす習慣を身につけるため、自宅で簡単にできる体操のリーフレットを配布し、訪問の際に実施できているか確認する。認知機能に問題がなければ、テレビのNHKラジオ体操番組は、毎日決まった時間に放送されているので、テレビを見ながら体操をする。ご家族の支援が得られるなら、決まった曜日・時間にYoutubeをテレビに繋ぎ、体操する。